

御在所岳

5月13日(火)

L: 川村裕 メンバー: 松原

浜松を出るときは雨。高速を快適に走らせるとだんだん雨がやんでくる。展望は期待できないかもしれないが、快適に歩けると期待を膨らませ、中道登山口近くの駐車場に着く。



広い駐車場。車はまばらだったが、次々と登山者が出かけていく。人気のある山だということが伺える。



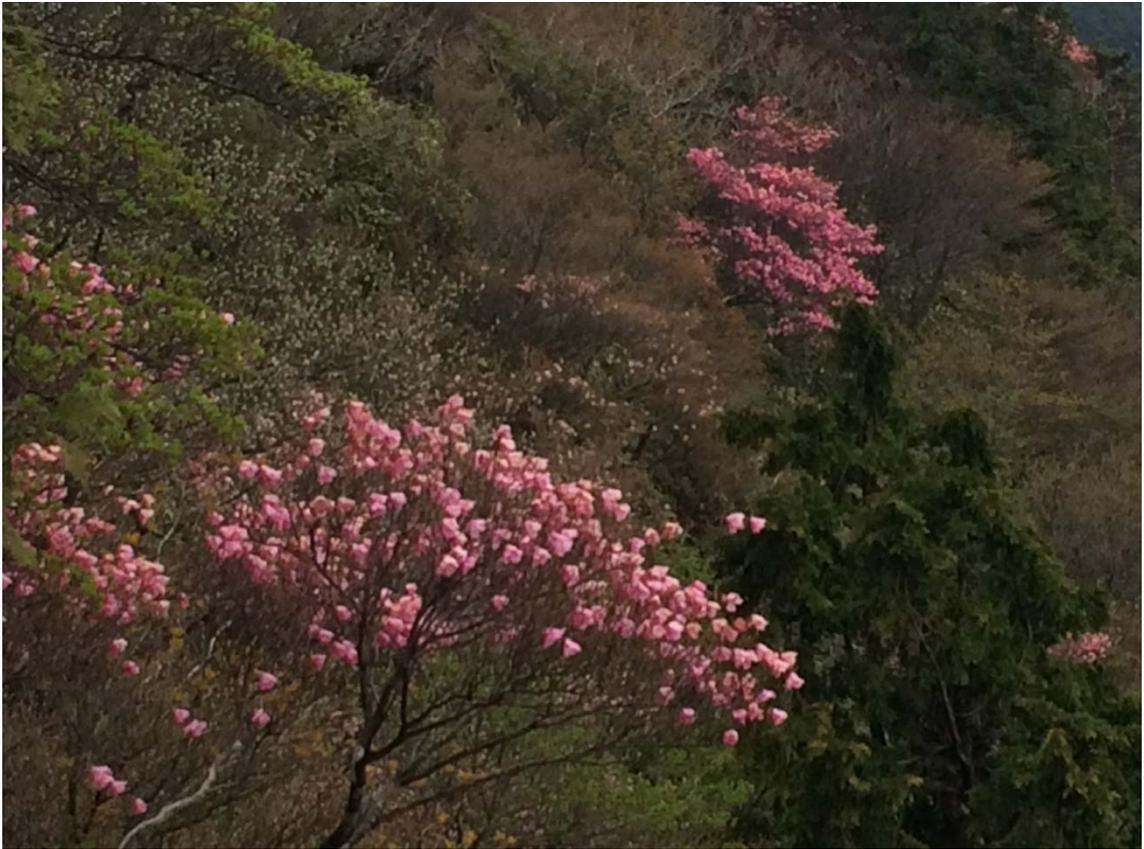
中道登山口



いきなりの急登が続き、体調が悪かったのか気持ち悪くなり、小休止。やばい、なんだかフラフラするかも。ゆっくり行こうと自分に言い聞かせる。踏み跡だと思って行った所がだんだん道が怪しくなる。登山道は上だった。戻るのは面倒だったので、木を掻き分けていくが、トゲに刺され指が痛い。岩をよじ登り登山道に復活。松原さんが山慣れしている方で良かった。初めての人なら泣き出すかもしれない。



天候は回復し、青空が広がる。これから向かう御在所も見てとれる。キレットでは体がふらつき、危うく落ちそうだった。今日は頭と体の感覚がおかしい。慎重に行かなければいけない、と頭をブルブルさせた。アカヤシオが現れてきたが、地面に花びらがたくさん落ちている。花盛りは花のトンネルになって見とれてしまうに違いない。しかし、見とれていると危険そうな場所が現れる。右に巻いていくところでは、足を滑らせたら落ちる。岩に体をつけながら気をつけて通過する。その後は鎖が現れ、鎖を手で手繰り寄せ、ゆっくり下降した。8合目をすぎたあたりからアカヤシオがきれいに咲いていた。駐車場から山の上の辺りがピンクに染まっていたが、その辺りに来たのかな〜と思った。



最後は、土や岩にロープが張られているところを登るとほどなく、舗装された道路に出た。その手前辺りに、携帯電話で男性二人がどうのこうのとか話している人がいて、何か事故でもあったのかな、と思い声を掛けたら、アカヤシオを折っている人がいるからロープウェイの人に通報したと言っていた。その二人組みを見かけたが、アカヤシオの木によじ登り何かを採っている。食べれるものでもあるのだろうか、、、。枝をバキバキ折っているので、辞めてほしい思った。



遠足なのか、小学校高学年くらいの子供たちがたくさんいた。明神山でも、子供たちが大勢登っているところに行きあった。私たちって子供向きの山によく来ているな～。



頂上は整備され、公園の様だ。

風が強いので風がよけられるところで、ご飯を食べた。体調がいよいよ悪く、痛み止めを飲んでいると、松原さんがロープウェイで帰ってもいいと言ってくれたので、好意に甘えさせてもらった。

ロープウェイは下りは怖かった。風に煽られゆっさゆっさ大きく揺れ、二人で悲鳴をあげた。

無事に着くと、登山口までの道が分からず、携帯のナビに任せて歩く。39分と出ているので楽勝かと思いきや、山道の登りで、くたくたになった。途中で道が合っているのか分からなかったが、方向音痴の私には、携帯ナビを頼るしかない。歩いていると見覚えのある道だ。この間来た鎌が岳の所だ！どんどん歩いて行くと、長石谷登山口を通過し、道が終わると思ったら、駐車場の裏手に着いた。よかった、帰れて。

駐車場（8：30）地蔵岩（9：25）頂上（11：00）